

中国地域ニュービジネス奨励賞

表彰事業

知的財産を活用し建設業から開発型メーカーへと事業転換

有限会社 ちふりや工業

代表取締役 岩下 芳人



受賞理由

移動の多い建設現場での「工事中のトイレに困っている」との声を受けて、移動式仮設トイレ「キューブレット」を自社開発し、全国の建設現場で使われている。その他、大型土のう土砂充填器具「瞬作」、フレコンバック自立保持枠「フレコンキーパー」、緊急防災用大型土のう「サンドレーンバッグ」などを次々に開発し、特許を取得している。これらは、災害復旧現場で実績をあげており、福島県の除染作業でも採用されたことにより、生産が追いつかないほどの売れ行き商品となった。このような好業績を受け、平成25年4月より、建設業から知的財産を活用した開発型メーカーへと事業転換を図っている。また、製品製造はすべて外注することにより、研究開発に特化したファブレス企業を目指している。

ポイント

- 建設業としてこれまでの事業経験を生かし、建設現場で発生している問題を、特許技術を開発するにより、次々と製品開発し解決提案を行っている。
- 製品製造はすべて外注するファブレス化を行うことによって、研究開発に専念できる組織体制をつくり上げている。
- 特許内容をできるだけシンプル化することによって、後発、類似製品へ対抗できるようにしている(特許侵害がすぐ分かる)。

事業概要

有限会社ちふりや工業は、昭和45年に、国鉄の線路保守工事を主事業として設立された建築会社である。昭和57年に事業を承継して以来、昨年3月まで建設事業の拡大・安定を目指してきた。その間、建設業としての限界を感じ、建設業から開発型メーカーへの事業転換を意図して、事業継続には絶対に特許ビジネスしかないとの信念から、平成12年より移動式仮設トイレ「キューブレット」・フレコンバック自立保持枠「フレコンキーパー」・大型土のう土砂充填用ホッパー「瞬作」・メッシュ構造の万能フレコンバッグ「サンドレーンバッグ」など、毎年特許・商標登録を取得した。山口県経営革新計画の承認で得た補助金を活用し、試作を繰り返しながら全国販売を展開している。昨年4月に念願の建設業から開発型メーカーへ事業転換を果たし、今後は新しい知的財産を活用した事業展開を図っていく。

推薦団体 山口県・公益財団法人やまぐち産業振興財団・地方独立行政法人山口県産業技術センター

会社所在地	〒754-0891 山口県山口市陶1928		
T E L	083-986-2300	U R L	http://www.chifuriya.com
会社設立	昭和45年10月	従業員数	5名(平成26年3月1日現在)
資本金	5百万円	売上高	133百万円(平成25年8月期)